

議会だより



祝！県大会進出 おめでとう！

見事、県大会への切符を手にした部

常北中学校

- ・野球部
- ・男子卓球部（団体・個人）
- ・女子卓球部（個人）
- ・男子ソフトテニス部（団体・個人）
- ・女子ソフトテニス部（個人）
- ・女子剣道部（団体・個人）

桂中学校

- ・男子卓球部（団体・個人）

表紙	1 P
6月定例会で決まったこと	2～4 P
一般質問 町政を問う	5～10 P
研修報告	11 P
お知らせ・編集後記	12 P

決まったこと



ホロル君

※大樹スタジイに住む伝説のフクロウ
性格はやさしく、特技は、スタジイに
実をならせること。

6月定例会は、6月11日から18日の8日間の会期で開催し、条例改正5件・その他の案件1件・平成24年度補正予算7件・平成25年度補正予算3件を審議し、すべて原案のとおり可決・承認しました。

条例改正

▽城里町税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部が改正・施行され、東日本大震災に係る復興支援のための税制上の対応、個人町民税における住宅ローン控除の延長・拡充、延滞金の割合の特例の見直しに伴い、関係条文を改正したものです。

▽城里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成25年度税制改正の大綱において、国民健康保険の被保険者であった者が国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行する場合について、国民健康保険税の軽減判定所得の算定の特例を恒久化する等の措置を講ずることとされたことに伴い、関係条文を改正したものです。

▽城里町税外諸収入の延滞金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例

▽城里町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

▽城里町介護保険条例の一部を改正する条例

平成25年度税制改正の大綱において、徴収する延滞金の割合の特例に係る規定について、地方税における延滞金の割合の特例と同様に改正されることに伴い、関係条文を改正したものです。

その他

▽平成24年度城北地方広域事務組合会計決算認定

平成25年3月31日をもって城北地方広域事務組合が解散したことに伴い、監査委員の意見書を付けて議会の認定に付するものです。

6月定例会で

平成24年度補正予算

一般会計

追加補正（3月29日専決処分）
3億124万1千円

総額 100億2,434万6千円に

歳入の主なもの

町税	2,550万5千円
地方交付税	3億3,825万5千円
国庫支出金	6,759万円
県支出金	△3,624万2千円
繰入金	△1億1,071万4千円

歳出

議会費関係	△292万円
総務費関係	5億4,408万2千円
民生費関係	△6,760万9千円
衛生費関係	△3,720万9千円
労働費関係	△392万4千円
農林水産業費関係	△1,144万9千円
商工費関係	△223万5千円
土木費関係	△4,874万1千円
消防費関係	△760万円
教育費関係	△4,597万3千円
災害復旧費関係	△366万5千円
公債費関係	△1,151万6千円

※主に24年度事業確定によるものの減になります。

特別会計

6事業特別会計

会計名		補正額	補正後の額	専決処分日
国保	事業勘定	△7,038万5千円	23億9,385万7千円	3月29日
	施設勘定	△877万円	2億4,097万5千円	3月29日
後期高齢者医療		△290万8千円	1億8,480万5千円	3月29日
介護	保険事業勘定	△6,608万9千円	17億2,160万2千円	3月29日
	サービス事業勘定	△29万5千円	408万8千円	3月29日
公共下水道事業		△1,197万2千円	10億2,444万5千円	3月29日
農業集落排水事業		△442万5千円	2億6,614万円	3月29日
水道	資本的収入	△5,737万6千円	4億4,310万4千円	3月29日

平成25年度補正予算

一般会計 追加補正 5億3,002万9千円
総額 94億7,602万9千円に

歳入	
国庫支出金	787万5千円
県支出金	△79万4千円
繰入金	1億3,236万7千円
諸収入	1,468万1千円
町債	3億7,590万円

歳出	
総務費関係	5億42万3千円
衛生費関係	254万2千円
労働費関係	548万5千円
農林水産業費関係	21万2千円
商工費関係	263万8千円
消防費関係	1,493万7千円
教育費関係	379万2千円

特別会計 2 事業特別会計

会計名	補正額	補正後の額
公共下水道事業	4,800万円	11億8,306万3千円
農業集落排水事業	4,141万2千円	3億2,008万4千円

審議した議案と各議員の賛否

第2回定例会の議案等の表決を賛成は○、反対を×、欠席は－で表示してあります。

議案名	議員名															
	藪部	余水	三村	河原井	加藤	阿久津	桐原	飯村	小林	南條	杉山	三村	小松	鯉	根本	小
	一	紀	孝	大	文	則	健	吉	祥	治	清	利	三	秀	正	孝
城里町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
城里町税外諸収入の延滞金、督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
城里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
城里町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
城里町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成24年度城北地方広域事務組合会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

今回5名が質問し、
その要約を掲載しました。

三 村 由利子 議員 …………… 6 P

- ・投票所について
- ・施設利用料金について

桐 原 健 一 議員 …………… 7 P

- ・風疹予防接種の助成について
- ・妊婦にやさしい環境づくり
町公共施設駐車場に「マタニティマーク」
の表示板設置について
- ・有害鳥獣を追い払う装置「バリアトーン」
の助成制度について

三 村 孝 信 議員 …………… 8 P

- ・公園墓地計画跡地の利用について
- ・中学校の再編について
- ・都市計画について

菌 部 一 議員 …………… 9 P

- ・高齢者福祉、介護、医療について
- ・農業振興について
 - ①城里町ブランド推奨品について
 - ②農業従事者の高齢化、後継者の育成は

杉 山 清 議員 …………… 10 P

- ・地域防災について
- ・感染症予防について
- ・奨学金について
- ・地域活性と交流人口について
- ・町道整備について
- ・町診療所について
- ・一般質問について

一般質問

町政を問う

投票所について



みおら ゆりこ 議員
三村 由利子

〈町長〉投票所まで遠くなったと実感している。
選挙管理委員会に話をする。

三村 投票所が大幅に統合縮小され、有権者には遠い存在になっており、投票率の低下傾向にあるなかで、現在の投票所の統合は適切なものかと判断されているのか。

総務課長 全町的な観点から実施したもので適切な投票所数と認識している。

三村 約450万円弱の経費節減のために投票所を統合したことが、適切だと思っているのか。

総務課長 地域を統括する区長さんから苦情等も寄せられていない。

三村 選挙で全域を回った町長は、高齢者世帯の実態をみて投票所を再考しなければならぬという判断には至らなかったのか。

町長 確かに再編により投票所までの

距離が遠くなったことは実感している。
三村 距離的なことで投票所に行けない事実は、保障されている選挙権を制限していることにならないか。

町長 選挙管理委員会でも議論することであるが、私からも話をする。



投票所

施設利用料金について コミュニティセンター使用料は高すぎないか

〈町長〉

これから検討課題とする。文化団体が安い料金で利用し活躍していただくことが町には大事なことと思っ

三村 趣味の活動グループがホール使用の申請で高額な料金を説明された。利

用料金の設定について所見を伺う。
町長 近隣の施設使用料と比較して高くない。

三村 町民のためのコミュニティセンターを利用できる料金設定にすべきでは。

教育課長 類

似施設と比較して、約30%〜50%料金は下回っている。

三村 活動発表の場、文化活動の振興の為に町民には考慮すべき



コミュニティセンター城里ホール

と思うが。
町長 これから検討課題とする。文化団体が安い料金で利用し活躍していただくことが町には大事なことと思っ



桐原 健一 議員

風疹予防接種の助成について

〈町長〉 予防接種の2分の1の補助を対象として助成していく。



設置されたマタニティマーク表示板



マタニティマーク

町長 妊婦さんがいらつしゃる機会が多いと思われる、コミセン、保健センター及び、桂図書館などの障害者駐車スペースに、表示板を設置していく。

桐原 風疹が全国的に流行している。妊娠を望む女性や、妊婦の夫らを対象に予防接種費用を助成できないか。
町長 本町における出生者は、年間100人から110人程度である。少子化対策の一環として、予防接種の2分の1の補助を対象として助成していく。

町長 〈町長〉 障害者駐車スペースに、表示板を設置していく。
桐原 妊婦の方に、ねなく利用してもらうために、「マタニティマーク」表示板を設置してはどうか。
町長 妊婦さんがいらつしゃる機会が多いと思われる、コミセン、保健センター及び、桂図書館などの障害者駐車スペースに、表示板を設置していく。

妊婦にやさしい環境づくり
町公共施設駐車場に「マタニティマーク」の表示板設置について

町長 町としては、有害鳥獣駆除隊を編成し、駆除を行っている。有害鳥獣の個体数の減少を図ることが最善であり、現

桐原 有害鳥獣を追い払う装置「バリアトーン」は、野生動物がおびえるという音波を人工的に発生させる装置で、「20万7900円」と高価格のため、助成制度ができないか。

町長 〈町長〉 現在の時点では助成制度は考えていない。

桐原 在の時点では助成制度は考えていない。

有害鳥獣を追い払う装置「バリアトーン」の助成制度について



バリアトーン

公園墓地計画跡地の利用について

〈町長〉 民間事業者から太陽光発電施設メガソーラーの提案があり、事業計画を協議している。



みおら たかのぶ
三村 孝信 議員

中学校の再編について

〈教育長〉

生徒の動向に留意し、早急に今後のことを考え動き出さなくてはならない。

三村 七会中学校の新入生11名のうち7名が常北中学校へ入学した理由は何か。町内中学校の生徒数の今後の見通しと中学校再編について検討しているのか。

町長 中学で入りたい部が七会中になるため、常北中を選

三村 七会中学校 択したから。10年後には、全校数で、常北中マイナス135名、桂中マイナス60名、七会中マイナス3名。以上となる。中学校再編については、今のところ計画はない。

三村 来年度も七会中において、こう

三村 41haの国有林を町有地としたが、その後利用するための計画はあるのか。また、墓地に対する国民の意識が変化し、「樹木葬」に対する関心が高い。そこで自然志向で里山を守るというコンセプトから「樹木葬」

を中心とした墓地を考えてはどうか。

町長 民間事業者から墓地計画跡地を活用した太陽光発電施設メガソーラーの提案があり、現在事業計画を協議している。「樹木葬」による墓地計画は考えていない。

都市計画について

〈町長〉

国道123号線バイパス沿線の用途地域の見直しを進めている。



七会中学校

三村 常北地区の都市計画決定から約

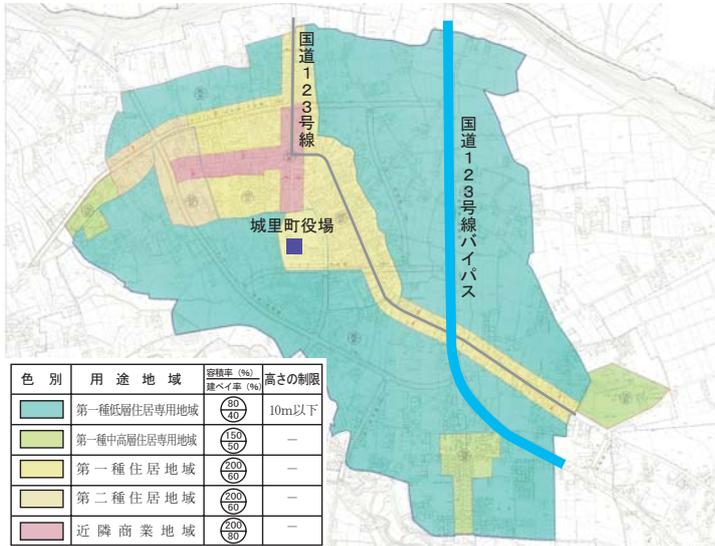
30年が過ぎた。地区を取り巻く経済情勢や人口動向、土地利用等に大きな変化が生じた。計画の見直

しが必要と思うが。

町長 国道123号線バイパスが開通するので、バイパス沿線の用途地域の見直しを進めている。現在は第一種低層住居専用地域となつているため、店舗等は建てられない。また、常北地区全域の見直しについても今後検討していく。

いったことが予測されるのではないか。

教育長 昨年度の経緯から統合は時期尚早ということだったが、生徒の動向に留意し、地域の方々と話し合いを深め、早急に今後のことを考え動き出さなくてはならない状況だ。



現在の常北都市計画図

高齢者福祉、介護、医療について

〈町長〉 高齢者の方が健康で生きがいを持って暮らせる環境づくりを進める。



そのへ 菌部 はじめ 一 議員

菌部 住民が安心して生活ができ、利用者本位の高齢者の自立支援利用者選択のサービスは。
町長 高齢者の方が健康で生きがいを持って暮らせる環境づくりを進める。介護サービス、住宅サービスの充実及び向上を図る。
菌部 次期高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業の中に特別養護老人ホーム等の増設は。
町長 町内には特別養護老人ホームは1カ所である。今41人が入所を希望しているが、県よりは8床しか示されず、難しい。
菌部 医療の中核を担った城北病院が被災し新病院を水戸に建設中、四倉医院は休院、城里町国保七会診療所は重要な位置と考えるが。

町長 国民健康保険運営協議会で建設検討委員会が立ち上がった。地域医療の提供の維持に努めた。



城里町国保七会診療所

農業振興について ・城里町ブランド推奨品について

〈町長〉 農産物にこだわらず認定し、地元農協、県の普及センターと連携してPRしていきたい。

菌部 ななかいの里コシヒカリ、桂のレッドポアロー、古内茶、しろさとトマト、コケッコー米の5品がブランド推奨品に認定されたが、今後増やすのか。
町長 農産物にこだわらず認定したい。
菌部 販売面で苦
菌部 労している。町としてPRは。
町長 地元農協、県の普及センターと連携したい。
菌部 推奨品等を食べる所が少ない。
町長 食べる所はなかなか無い。販売店舗は町内特産品直売所、農協Aコープ

等。
菌部 ブランド推奨品の推奨窓口担当
町長 は。産業振興課で行っている。

農業従事者の高齢化、後継者の育成は

〈町長〉 人・農地プランを推進して後継者を育成し、就農者の増加を図りたい。

菌部 現在農業を担っているのは60代から80代だ。減反政策、T P P問題で若者の生産意欲が失われる中で、後継者問題は。
町長 基幹産業の農畜産林業に携わりたい。
菌部 方々の高齢化、耕作放棄地の増加、後継者不足は深刻だ。農林水産省の「人・農地プラン」を推進して後継者を育成し、就農者の増加を図りたい。



ななかいの里コシヒカリ



レッドポアロー



古内茶



しろさとトマト



コケッコー米

地域防災について



すぎやま きよし 杉山 清 議員

〈町長〉 水害対策については今後も強く県に要望し、治水対策の強化に努め、安心して安全なまちづくりに努める。



根古屋橋

杉山 啓蒙啓発を考慮し、女性消防団組織化が必要では。
町長 女性の特性を生かした普及が期待される。消防団等と協議していく。
杉山 消防団詰所44カ所の施設（トイレ、給水）の充実と、水防地区への救命胴衣、山間地区にジェットシューターを設置できないか。
町長 消防団員の処遇や活動環境に関わるので、順次検討していく。

杉山 滞納者に対し期限の猶予制度や、今後は保証人枠拡大を考えては。
教育長 前向きに検討する。

奨学金について

杉山 感染症流行に対し予防算を専決執行して頂けるか。
町長 発生した場合、速やかに専決処分を執行する。

感染症予防について

杉山 毎年の質問である、水害対策、特に江川と根古屋橋の改修を早急にできないか。
都市建設課長 国道123号線バイパス完成前に根古屋橋を改修できるよう県へ要望を続ける。

地域活性と交流人口について

杉山 都心部自治体と姉妹都市協定を結んで交流を図っては。
町長 利点が一致する自治体と友好都市を念頭に考えていく。

経済産業省補助3分の2と立地

杉山 経済産業省補助3分の2と立地を生かし電気自動車急速充電システムを町内に設置し、交流人口の拡大と地域活性化を図っては。
町長 観光客の集約と都市住民との交流人口増を考え、今後の動向を見ながらぜひ検討していく。

町道整備について

杉山 未整備地区通学児童と地域住民

の安全を図る上で、1・5車線（待避所）設置は費用対効果策では。
都市建設課長 緊急時の対応や通学児童等の安全確保のための手法として検討していく。



沢山小学校付近の町道

町診療所について

杉山 平成18年12月議会にて、沢山診療所廃止に反対した議員として伺う。県には無医地区は県北6自治体21地区、城

里町には七会地区に4地区ある。町長はこの4地区を含め、へき地医療についての様にお考えか。
町長 へき地に住む地域住民が安心して医療を受けられる整備が必要である。今後は建設検討委員会で協議をいただき、より良い施設整備をしたい。

一般質問について

杉山 議員は調査をし提案として質問をするが、執行部は事業化に対し経過報告はできないか。
町長 財政措置を有するもの、年度内補正予算か新年度予算に計上し実施か、精査しお知らせしていく。

研修報告 議会広報委員会

宮城県丸森町議会を研修

去る5月21日（火）、城里町議会広報委員会は、読者にわかりやすい言葉で親しみのある広報紙づくりと、よりよい発行・編集方法を調査するため、第27回町村議会広報全国コンクールにおいて「奨励賞」を受賞した宮城県丸森町議会において視察研修をさせていただきました。



研修の様子

発行状況

- ◇ 名称 丸森町議会だより
- ◇ 創刊 昭和31年4月
(現在223号)
- ◇ 発行回数 定例会ごとに年4回
(必要により臨時号を発行)
- ◇ 発行日数 定例会終了後60日以内
- ◇ 発行部数 5,450部
- ◇ 配布対象 町内全戸、関係する機関及び団体

編集要領

- ・ 定例会初日に第1回委員会を開催し、編集方針や日程、委員の役割分担を決定する。
- ・ 本会議の一般質問終了後、録音テープを発言議員に渡し、発言議員は要約した原稿と、内容に合致した写真を7日以内に提出する。

編集体制

- ◇ 委員数 6名
- ◇ 任期 4年
- ◇ 開催日数 1回の発行につき3回程度(うち1回は定例会初日)



丸森町の議会広報紙

- ・ 委員会には印刷業者にも同席してもらい、直接編集指示を与えたり、第三者の視点からレイアウト等のアドバイスをもらっている。
- ・ 活字サイズは11ポイントを基本とし、5段組にして読みやすくしている。
- ・ 一般質問は一人一項700字以内にして、すべての質問を載せるようにしている。
- ・ 紙面のレイアウトや表現力などを向上させるため、全国町村議会議長会主催の研修会や県主催の研修会へ毎年委員全員で参加して、委員の認識を共通化し、一人一人が自己研鑽に励んでいる。

丸森町の概要

丸森町は、宮城県の南端に位置し、南西は福島県と隣接しています。町の北部を阿武隈川が貫流し、その流域と支流河川の流域一帯が平坦地を形成しているものの、南東部は500m内外、北西部は300m前後の阿武隈山脈の支脈で囲まれた盆地状の町です。
町の総面積は273.34km²で、宮城県の約3.8%を占めています。

- 【人口】 15,243人
- 【世帯】 5,065世帯
- 【面積】 273.34km²
- 【議員数】 16人
- 【常任委員会】
総務財政常任委員会
文教厚生常任委員会
産業建設常任委員会
- 【特別委員会】
議会広報特別委員会

今回、丸森町の議会広報特別委員会を調査研修し、町民に親しまれるよう、議会活動を分かりやすく伝えるために努力を重ねている姿に触れ、今後の広報紙づくりに大いに参考となる研修となりました。
今後は今回の研修で学んだことを十分に活用し、読みやすく分かりやすい広報紙づくりに取り組んでまいります。

議会を傍聴してみましよう！

傍聴者報告

第2回定例会(6月11日～18日まで開催)

14人

次回の定例会は9月3日からの予定です。

(コミュニティセンター城里1階 サークル室の予定)

日程など詳しいことは議会事務局へ

TEL.029-288-3111 (内線 300)

城里町の高峰「鶏足山」

鶏足山は、城里町最高峰の山で、標高が430.5mあります。四季折々に魅力のある鶏足山に是非おいでください。

東に太平洋、西に日光男体山、南に加波山・筑波山、北に那須連山・大子男体山が見えます。条件の良い日であれば、富士山や浅間山・南アルプスまで見え、眺望は絶景です。



鶏足山 (所在地：城里町上赤沢)



完成した鶏足山駐車場

編集後記

今年、例年より早く梅雨入りを気象庁が発表したが、雨が降らず心配したところ、その後梅雨の天候に戻り、農家は一安心したかと思えます。先般、カンボジアの首都プノンペンで開催したユネスコ世界遺産委員会で、日本が推薦した「富士山」が、景勝地の「三保松原」を含めて世界遺産に登録され、これから日本の活性化は無論のこと、外国からの観光客が増え、更なる経済効果を期待したいと思います。

ちなみに、わが町の誇りである高峰「鶏足山」は、天気の良い日は富士山の姿を眺望することが出来ます。ぜひ、一度登山してはいかがでしょう。今号の「議会だより」は、6月定例会審議結果についてお届けします。ご一読ください。

小林 祥宏 記

議会広報委員会

委員長 三村 由利子
副委員長 小部 宏一
委員 飯村 祥一
 小部 宏一
 小部 宏一

河原井 大介
加藤 健夫
桐原 健夫
飯村 祥一
小部 宏一
小部 宏一